

# いのちの授業【美術科】学習指導案

指導者 N・T

## 1. 本時の指導

(1) 題材 原点を見つめる(小さかった頃の自分を描こう)

(2) 目標 対象を深く見つめ顔の特徴をつかみ、絵に描くことができる。(美術科)

小さかった頃の自分を見つめ、描くことで、自分自身が純粋だった頃を思い出し、これからも生きていこうとする気持ちを持つ。

(いのちの授業)

## (3) 指導過程

	学習活動	主な発問(○)と指示( )	指導上の留意点(・)と評価( )
導入	子どもの描かれた作品を鑑賞し、その作品の描かれた背景について理解する。	○子どもの描かれた作品を見てどのような印象を受けるか考えてみましょう。  何点か子どもの描かれた作品を準備し、提示する。	・子どもの描かれた作品から受ける印象を何人かに発表させる。  ・掲示用のほかに、何点かの子どもが描かれた作品をプリントに印刷しておき、じっくりと鑑賞できるようにしておく。
展開	写真を見ながら鉛筆でスケッチする。	○写真をよく観察して顔の特徴を描いてみましょう。  写真をじっくりと観察し、特徴を捉えながら描きなさい。	・顔の描き方について簡単に確認をしておく。  ・写実表現以外のイラストレーションのような作品も認め小さかった頃の思い出をじっくり思い出させながら描かせたい。  写真をよく観察し特徴を捉えようとしているか。
まとめ	描いた作品をながめてみる。	○描いた絵をながめてどんな印象を受けるかを作品の余白に書いてみましょう。  描いてみての感想を発表してください。	・印象を書けない人は、どのような気持ちで描いたのかを書かせる。  印象や気持ちを書くことができたか。  ・何人かに描いてみての感想を聞く。技能的な面だけでなく描いている時に自分ことについて感じた感情を言えるように促す。
いのちの授業のまとめ	小さかった自分を見つめることで、これからも生きていこうとする気持ちを持つ。	現実と理想の間で様々な悩みを抱えている皆さんにも純粋でかわいらしい時がありました。今日写真の小さかった頃を描いて様々な思い出が浮かんできたことと思います。小さかった頃の自分にぜひこれからもがんばって生きていくことを誓って欲しいと思います。	・自分の描いた絵と写真を交互に再度ながめさせる。

(4) 評価 対象を深く見つめ、特徴をとらえて描くことができたか。

小さかった頃の自分を見つめ、描くことで、自分自身が純粋だった頃を思い出し、これからも生きていこうとする気持ちを持てたか。